

ホテルニューオータニ東京

清華大学学生代表

見学日時：2013年6月6日（木）09:00－10:30

見学場所：ホテルニューオータニ東京 東京都千代田区紀尾井町4-1

見学概要

6月6日、日本での見学の日程も残すところあと一日となり、私たちは今回の旅で七日間にわたって宿泊したホテルニューオータニ東京を見学した。普段ならめったに出入りする事のない五つ星の高級ホテルである。私たちはホテルの発電システムや廃水処理システム、廃棄物処理システムそして空中庭園などの施設を見学した。これらの施設はホテルの環境保護と省エネに大きく貢献している。

私たちはまず空中庭園を見学した。庭園には30種類を超えるバラが植えられている。灌水に必要な水はホテル内の廃水を浄化した「中水」で賄われており、省エネと環境保護そして美観維持を兼ねている。まさに廃水再利用の優れたモデルといえる。

廃棄物処理システムにおいては、毎日厨房から排出される5トンものゴミが100%回収されて、再利用されているとホテルのスタッフは語ってくれた。ホテル内に設けられているプラントでは、厨房からのゴミがまず粉碎され、それから脱水、乾燥、発酵などの工程を経て堆肥に生まれ変わり、その後農家に送られて農作業に活用される。またホテルで毎日排出される1000トンもの廃水もバイオ処理技術によって浄化され、トイレの洗浄水や庭園内の樹木・草花への灌水などに使用されている。



ホテルの見学時に、私たちは巨大な発電機から鳴り響く大きな音を聞いた。ホテルの総消費電力の約30%がこの発電機によって賄われており、電気代の節約だけでなく使用電力のコスト削減にも繋がっている。

また、見学中に目にした幾つもの大きな木桶に興味をそそられた。これらの木桶は5メートル近い直径と高さがあり、相当量の飲料水を蓄えておくことができ、さらに優れた殺菌消毒効果もある。ホテルのスタッフによるとこれらの木桶はすでに40年近く使用されており、木特有の殺菌効果で飲料水の安全が確保されており、ほのかな良い香りがしていた。

知っていますか？

五つ星の高級ホテルであるホテルニューオータニは2棟の高層ビルを有し、毎日国内外から訪れる大勢のゲストをもてなし、便利で快適なサービスを提供しているが、同時にさまざまな生活ゴミや食品廃棄物が日々排出され、その排出量も半端ではない。では、ホテルニューオータニはどのようにこれらの廃棄物を処理しているのだろうか？



まず、廃水の処理について取り上げよう。厨房廃水は中水処理システム(見学時には、上の写真のような大きな池を幾つも目にした)を通過して排水に混ざっているゴミを沈殿させた後、中水はすでに使用可能な状態になる。ホテル内にあるトイレの便器に流れる洗浄水はこの処理された水であり、このシステムによって水資源の使用量を大幅に抑えることができています。また中水は、大ホールやタワーの屋上にある空中庭園に植えられているバラへの灌水にも使用されている。見学前には、このような場所に多種多様なバラが咲き乱れる美しいローズガーデンがあるとは思ってもよらなかった。毎日ここで使用される水はすべてホテルで処理された中水で賄われており、非常に効率の高い省エネ対策を講じている。

次にゴミ処理の工程に注目してみよう。ホテルニューオータニでは、先に建設された2つの処理室で、毎日排出される約5トンの有機ゴミを粉砕して乾燥させた後に、発酵処理を施し有機肥料に変える。この有機肥料は工場に搬送しさらに発酵を行うことで、使用可能な有機肥料となる。これらの有機肥料により栽培された作物がホテルニューオータニに納品され、美食に姿を変えてゲストに提供される。これぞまさに有機ゴミの100%循環再利用を実現した素晴らしいシステムであり、ホテルニューオータニの環境保護への取り組みの素晴らしい成果でもある。

そして、見学途中に私たちが目にした幾つもの大きな木桶は、すでに30年以上の歴史があり、ホテルスタッフの紹介によると一定の期間ごとに、これらの木桶の清掃作業が実施されている。それゆえ長期にわたって継続的に使用することができている。またこのような貯水技術は使用周期が長く、素材である木の殺菌作用で、質の高い飲料水を提供し続けている。このシステムは中国のホテルも見習うべき立派な手本である。

感想

今回、日本における最後の見学先であるホテルニューオータニの環境保護の取り組みを見学できたことは、私たちにとって最高のフィナーレとなった。来日後の宿泊条件、衛生面、緑化環境はすべて申し分のないものであった。日本は国土面積が狭く資源も少ない割には人口が多く、いかにしてこれほどまでに素早い発展と高い文化を備えた社会の形成を実現することができたのか非常に興味深く感じていたが、今回の見学によって間違いなくその疑問に対する明快な答えが得られた。それは、人々の環境保護に対する高い認識とその理念の一貫した実践によるものである。例えば、庭園の緑化と空中庭園の建設は自然に恵まれた快適な環境を提供し、同時に中水も有効活用されている。まさに一挙両得である上にエネルギーの浪費を防いでいる。またゴミの分別と処理においては、毎日排出される5トンものゴミを100%再利用している。そして環境保護においてさらなる向上を目指し、日々改善に取り組んでいるという。これは私たちにはとても真似ができることではない。なぜなら私たちは、豊かな資源と広大な土地に恵まれているという思い込みをしており、さらにゴミの分別制度の不整備がゴミの効果的な再利用を実質不可能にしているからである。

ホテルニューオータニを見学する前に、私たちは東京都のゴミ処理施設も見学したが、皆それぞれの分野において非常に優れた環境保護活動を展開していた。ホテルニューオータニのようなホテルや企業が皆、環境保護の理念を自身の生産活動にまで徹底させているからこそ、清潔で美しく、且つ高い文化を誇る日本を形成することができているのである。私は今後の中国の発展において、中国の企業と市民が日本の環境保護とその発展の手本から学ぶことによってより清潔で美しい中国を造り、埃と塵にまみれた現状を徹底的に改善できたらと願っている。

そしてこの点に関しては、私はただ理想を語るだけではなく、実際に生産活動や生活から始め、自分なりの環境保護をしていきたいと思っている。これがホテルニューオータニの見学を通して私が一番強く思ったことである。